

第13回日本の次世代リーダー養成塾に参加して

◇卒塾生の感想文より

No.1	2年生女子
------	-------

1 リーダー養成塾を受講して

今回リーダー養成塾を受講して、普段学校では出来ない講義やディスカッション等たくさんの経験をする事が出来ました。最初は全国の高校生が集まると聞いて地方の言葉が通じるのか、又、友達が出来るか心配でしたが、入塾するとそんな心配もなく、リーダー養成塾でのクラスメイトや友達は、いい人ばかりで支え合ったりしました。

入塾する前は、自分に自信が持てず、いつもネガティブな考えをしていました。こんな行動をしたらダメだと自分で歯止めを掛けてしまい、学校の先生や友達にも積極性がないとも言われた時がありました。しかし、リーダー養成塾では、様々な所でディスカッションや意見を言う時間があり、最初は人の話を聞くだけでしたが、日にちを重ねるごとに自分から意見を言う事が恥ずかしいとも思わず、当たり前になっていました。

リーダー養成塾では、自分に自信が持てるきっかけを作ってくれました。

今回本当に参加して良かったです。最高の経験とクラスメイトを持つ事が出来ました。

運営の方々や先生や学生リーダーの方々には感謝しかありません。ありがとうございました。

2 印象に残った講義とその理由

水戸岡鋭治先生の「デザインは公共のために」が一番印象に残っています。水戸岡先生は、様々な建物や列車のデザインをしているデザイナーさんで私の憧れです。

私の夢はデザイナーの中でも、ファッションデザイナーなのですが、水戸岡先生は、人との繋がりを一番大事になさっていて、自分の個性を出すより、人の要望に応え、かつ他では考えられないような発想を入れ込む事が出来る水戸岡先生のデザインはとても凄くて、自分も取り入れたいと思います。

将来、水戸岡先生と一緒に何かコラボレーション出来たらいいと思います。それを一つの目標に頑張ろうと思います。

3 今後のわたし

今後、私は学校で積極的に意見を言っていきたいと思います。学校では、あまりディスカッションをする時間は無いですが、自分の学科は服飾デザイン科で1年後には卒業発表会があったり、先輩から続いているプロジェクトもあるので、リーダー養成塾で経験したディスカッションや想像力を使っていきたいと思います。

突然ですが、私の将来の夢はファッションデザイナーになって、自分のブランドを持つ事です。この夢はリーダー養成塾に入塾してから決めました。リーダー養成塾では、クラスメイトと支え合い、時に意見を言い合う事で学校の友達とは違う、本気で言い合う事が出来るパートナーを作る事が出来ました。

学校や社会に入った時、リーダー養成塾でつちかったコミュニケーション能力を使って、将来の夢が叶うように頑張っていこうと思います。

◇卒塾生の感想文より

No.2

3年生女子

1 リーダー養成塾を受講して

私はリーダー塾に参加し、自分自身を成長させるきっかけを掴めたと強く感じています。個性豊かな仲間達、一流の講師陣、尊敬できる担任の先生、支えて下さる学生リーダーや事務局の方々。多くの出会いの中で、人を見つめ自分を見つめなおす良い機会となりました。1日1日が新鮮で濃く、長いようであつという間の2週間でした。同年代とは思えない程のパワー溢れる仲間刺激を受け、自分の魅力を高める努力をし続けなければならないと感じると共に、そういった仲間がいることを胸に、これからも頑張れると強く思いました。このようなかけがえのない宝物を得ることが出来たチャンスを与えて下さった関係者の方々、応援して下さいました方々すべてに感謝の気持ちでいっぱいです。

2 印象に残った講義とその理由

どの講師の方の講義も魅力的でしたが、特に印象深かったのは川口淳一郎先生のご講義です。川口先生は、はやぶさプロジェクトに携わった身として様々な創造についてのお話をして下さいました。その中で、日本人はできることだけをしがちだ、という言葉に思わずどきりしました。できないことにやれる理由を探し、不完全でも挑戦しなければならないというメッセージは強く胸を打ちました。挑戦することを恐れず、自分自身を信じてこれまで無かったものを創造していきたい、創造しなければならないと感じることが出来た講義でした。

3 今後のわたし

リーダー塾に参加して決意したことがあります。それは、自分のアイデンティティを創造し、確立することです。多くの人との関わりの中で、自分をたらしめるものは何か、という事を強く考えるようになりました。様々な個性を持ち合わせた人々と生活を共にし、それぞれに魅力がある事を感じ、自分の魅力、価値を持つことで自信を付けたい、ポジティブな人間になりたいと思いました。他人を理解するには、自分を理解することから始めるべきだと考え、まずは自分に目を向け、今できることを全力でやり続ける強い心を鍛えていきたいと思いました。リーダー塾に参加できたことで素晴らしい仲間と素晴らしく暑い夏を体感することができ、自分の思考がぐるりと変わり始めました。自分に、周りに、日本に、世界に目を向け、広い視野で考えを広げ、深めていきたいです。そして、リーダー塾で出会った人に再会する時に、誇れる自分でありたいです。謙虚に、けれど大胆に高みを目指して努力をし続けます。

◇卒業生の感想文より

No.3

2年生男子

1 リーダー養成塾を受講して

私は全体を見渡すことで現状を知り、組織に貢献することを学び、リーダーとは仲間よりも素早く動き、成功に導くためのプロセスを考えることのできる人間だと自分なりに考えました。勉学としての知識や人間性を養うだけでなく、生活面でも「今自分がすべきことは何か」を最優先に考えることで、日常でも「最善策を導くための手段」について学ぶことができました。

また、佐賀県での研修は有田の文化に触れるために有田焼作りの過程を見学したり、実際に絵付けという体験をすることで、より深く歴史を知ることができました。

アジア・ハイスクール・サミットでは、同じクラスの仲間とのディスカッションを通して課題の解決策を探し、よりよい発表をすることができました。

充実した2週間でした。

2 印象に残った講義とその理由

榊原英資先生の「幼児化する日本」という講義です。

理由は自分の意見だけでなく、相手の意見も踏まえて、物事を客観的に見ることが大切という話を聞いて、「自分には相手の意見を取り入れた発想が不足している」と感じたからです。

「相手を知らない」ことは「自分を知らない」のと同じで、異質なものを排除せず受け入れることの重要性、多様性を認める難しさをこの講義で知り、学ぶことができました。

生活でも異文化との差は大きく、そこからいじめに発展することがあり、日本は異文化と分かり合うということが苦手だと知ったので、グローバル化を目指して進んで異文化に触れ合おうと思います。

3 今後のわたし

リーダー塾で学んだ「仲間よりも素早く動き、成功に導くためのプロセスを考える」ということを活かし、学校生活の中で、仲間との行事活動だけでなく、日常のディスカッションでも考えていきたいです。また、アジア・ハイスクール・サミットを通して、話し合いでは「時間配分」「進行する能力」「相手の意見の尊重」「話し合いでの内容を日常に持ち込まないこと」が大切だと学んだので、リーダーとしてディスカッションを進行する立場を全うし、組織に合った最善の話し合いを目指したいと思います。

普段の生活でも「5分前に行動する」「汚れに気付いたら掃除する」といった人として当たり前である行動の大切さについても、改めて見直す良い機会となり、学校の中でも重要なことなので、「自分から呼びかける姿」を心掛け、全校に広げていきたいと思います。

多くの先生方の講義に出た「自分を見つめ直し、深く知るために外国を知り、異文化を知る」ということで外国との交流を深めていく手段として英語を中心に様々な言語を学びたいです。

◇卒業生の感想文より

No.4

2年生女子

1 リーダー養成塾を受講して

リーダー養成塾を通して、本当に考え方が変わったなと思いました。

最初の1週間は、スケジュールもハードだし、体調悪くなることも多かったし、ゆっくりできる時間も全然ない！！って感じで岐阜とはやっぱり環境も違うし、ストレスがすごい溜まって、帰りたくなって弱音を吐いてしまうこともありました。でも、同じクラスの友達がみんな心配してくれて、体調悪そうにしていたら、うちわであおいでくれたり「リーダーって自分のことだけじゃなくて、人にも気を配ることのできる人なんじゃないかな」って考えるようになりました。後半の1週間は、帰りたいたとは思わなくなりました。大変だから、ストレスが溜まることもあったけれど、友達やクラスメートがいてくれて一緒にがんばることができました。

リーダー塾は全体的に、意識が高くて「みんなでがんばろう！！」という思いをもっているなと感じました。また、自分たちから呼びかけて「ここを直そう」「もっとこうしよう」とお互いに高め合っているなあと感じたし、私も頑張ろうと思えたので、参加できて本当によかったです。

2 印象に残った講義とその理由

私が印象に残った講義は、甲斐田万智子さんの講義です。

理由は、元々NPOやNGOの活動に興味があったことと、どのような活動をしているのか、詳しく知ることができたからです。甲斐田さんは、シーライツというNPO法人での活動をされていて、大学4年生のときから働いていたと聞いて最初おどろきました。

また、「政府は本当に欲しい援助をしていない」「物はあまりいらぬ、物よりも大切なのは人づくりだ」と教えていただきました。人づくりというのは子どもの権利について知る人をもっと増やすことであり、物の支援だけでなく、目に見えない支援をすることも必要であるということが分かりました。児童労働問題はつらいし、かなしいから嫌だけれど、子どもたちのために誰かがやらなければならないと聞いて、自ら難しい問題に取り組む姿にとても感銘を受けました。

3 今後のわたし

私はリーダー塾で学んだ「お互いを高め合うこと」「気を配ることの大切さ」に重点をおいで活かしていきたいと考えています。

「お互いを高め合う」ためには、まず自分の意見を言うことが大切で、受け身になるだけでは、高め合うことは難しいと思いました。だから、発言する内容をよく考えたうえでディスカッションを盛んに行うことが、今とても大切なのではないかと考えました。

「気を配ることの大切さ」では、つらかったとき、悲しかったとき、私はリーダー塾のみんなにたくさん助けられました。どれだけ心の支えになったかわからないくらい支えになりました。だから、私はそのときのみんなの立場になりたいです。誰かを助けることができるのは、まず自分のことができていないといけないと思うので、まず自分のことができるよう努力したいです。そして、困っていたり、つらかったり、悲しいとき、体調が悪い人にすぐに気づくことができる他人を思いやることのできるリーダーになりたいです。

これらの2つのことを学校でまず実践し、そして学校以外の場でも、色々な人への思いやりを持ちつつつけられるようになりたいです。また、「お互いを高め合う」ために、進んで動くことのできるリーダーになりたいです。

◇卒塾生の感想文より

No.5

3年生男子

1 リーダー養成塾を受講して

参加して一番よかったなと思うことは、やはり日本のトップの方々の講義を聞くことが出来たことです。

その中で一番印象に残っている講義は滝久雄先生の講義です。起業をしたいと考えている私にとって、どれも刺激になり勇気づけられるような言葉ばかりでした。

また、全国から集まってきた高校生たちにも非常に刺激を受けました。私は高校3年生で年下の子が多かったのですがみんな自分の夢をしっかりと持っていて、その夢を叶えるための努力もして自分もしっかりしなくてはと思いました。

本当にリーダー塾に参加してよかったと思いました。

2 印象に残った講義とその理由

滝先生の講義のほかに榊原先生の講義が印象に残りました。

題は「幼児化する日本」でした。内容は、日本の心が内向きになっていることで、国際社会における競争力が低下しているということでした。

また、そのほかにも“大人になるとは”ということは具体的にどういうことなのか言葉でわかりやすく教えて頂けました。

本当に貴重なご講義を聞くことが出来ました。

3 今後のわたし

リーダー塾で私が一番成長した点は、コミュニケーション能力だと思います。

もともとコミュニケーションは得意な方だったのですが、2週間スマホが無く、話すしかない環境のおかげでこの能力をさらに伸ばすことが出来たと思います。

アジア留学生の子と話していて、日本人との違いに気づきました。日本人同士は割と「察しあう」ということができるのですが、これは日本人独特のものなのだとということに気づきました。だからグローバル化社会が進んでいる現在、思っている自分の意見をどんどん発信していくことを大事にしていきたいです。

◇卒業生の感想文より

No.6

1年生女子

1 リーダー養成塾を受講して

リーダー塾での2週間は、今迄に経験したことがないほど、充実して濃い日々でした。講師の先生方のお話は、どれも興味深く、自分の考え方を教えてくれたり、自分の今迄抱いていた疑問に対する答えの道標になりました。

講義の時間以外でも、全国から集まった人たちと、色々なことについて討論をすることもでき、自分の視野を広げることができましたし、考え方も今迄とは違う一歩成長したものになりました。

また、アジア・ハイスクール・サミットで大人数での話し合いの難しさを学びました。と同時に、ディスカッションの大切さ、意義についても学びました。

リーダー塾で過ごした1秒1秒は、本当に、普通に生活してはできない貴重なものでした。全国の仲間、アジアの仲間と交流することができ、本当に本当によかったです。

2 印象に残った講義とその理由

どの講義もとても、興味深く、ためになるものでした。

その中でも特に川口淳一郎先生、沈壽官先生、麻生渡先生の講義と、その中でのお言葉が印象的でした。

川口先生は講義の中で「ルールは人が作ったものである。日本人は、ルールの内側で活動をしようとする。ルールがあってほしいと願い、自らを枠に入れ考えるのが、今の日本人だ。だが、行動があってから、国際合意になるのだ。行動が先取りしているんだ。ルールがないとき、どう行動できるかが大切だ」「格付けから脱皮できる国づくり」とおっしゃっていました。今、私達若者が生きている多種多様な世界だからこそ、これらのことはとても大切になっていくのだろうと思いましたが、国をつくっていくべき存在であるからこそ、今、新しく何ができるのかを考えなくてはならないと改めて痛感しました。

3 今後のわたし

今回のリーダー塾で、講師の先生方からも、一緒に2週間すごした仲間や友人達からとても刺激を受けましたし、色々学ぶことができました。

リーダー塾に行き自分の進路に対する決意を固めることができましたし、迷いも無くなりました。ですが、今の私には進路を実現するための学力も人としての魅力もまだまだないと、痛感しました。なので、勉強を必死でやり、教養を身に付けていきます。また、自分から色々な活動に参加し、経験を積んでいきたいです。2年半後に、まず第一志望の大学に現役合格します。そして、人のために働きたいです。

また、周りの人との関わり方も学ぶことができました。リーダーとして、どう人と関わり、ひっばって行くのか、動いて行くのか学びました。ディスカッションを通してよりよいものをつくりだすために大切になっていくこと、また、そのやり方を知りました。私は、リーダー塾が終わり、3週間後に文化祭がありました。その準備の活動中、今迄の自分とは少し違ったやり方でみんなに指示をだし、関わることができました。これができたのは、リーダー塾に参加したからです。

最後に、私はリーダー塾に参加し、チャンスに対して貪欲になりました。目の前にあるチャンスはもちろん、埋まっているものも逃したくはありません。自分から動き、どんどんチャンスをつかみ、それらを活かしていきます。「努力は無限大である」と学んだことを忘れず、何事も全力で最善を尽くしていきたいです。

◇卒業生の感想文より

No.7

1年生女子

1 リーダー養成塾を受講して

毎日が刺激的でとても充実した二週間でした。志の高い仲間と出会えたこと、そしてそんな仲間と議論することができたことがとてもうれしいです。私は、この塾に参加し、自分の未熟さを痛感しました。考えの浅さ、行動力の無さ、リーダーシップの低さなど、自分がいかに狭いところで生きてきたかを思い知らされました。しかし、二週間を通して、自分の足りないことを理解し、少しは補うことができたと思います。それができたのはレベルの高い仲間、そして講師の方々がいたからです。

講師の方々のお話は、どれも内容が濃くもっと聞きたいと思うものでした。また、講師の方々の格言がとても心に残っています。講師一人一人によって内容は異なりますが、どれも生き方やリーダー像についてでした。どの講師の方の言葉も今後生きていく中で重要だと思いました。私にとってこのリーダー塾での経験は一生の財産です。この塾を通して出会った仲間も私の宝物です。日常とは違うさまざまな経験ができ、本当に良かったです。

2 印象に残った講義とその理由

私が一番印象に残っている講義は、川口淳一郎先生の「やれる理由こそが着想を生む。『はやぶさ式思考法』」です。私は、この講義の中で先生がおっしゃられた言葉に胸が熱くなりました。一つ目は、「できるかもしれないからやる」という言葉です。私は、この言葉をきいて、失敗するか成功するかは、やってみないとわからない。たとえ、無理だと思っていたことでも挑戦してみたら成功するかも知れない。だから、とりあえずやってみよう！と挑戦することが大切だと思いました。

二つ目は、「コピーになろうと思わない」という言葉です。川口先生の講師紹介のところには他の先生方のページにはあった”尊敬する人”という項目がありませんでした。なぜ？と思っていた答えがこの言葉でした。尊敬する人物を目標に取り組んでいるとただ単にその人物のコピーになってしまう、それではいけない。その人と同じを目指すのではなく、その人を超えたいといけないうんだと思いました。

3 今後のわたし

私は、この塾を通して新たに目標が見つかりました。近い目標としては留学することです。多くの講師の方々が口をそろえて「若いうちに留学しよう」「留学して外から日本を見てみよう」とおっしゃっていました。私自身、アジアの留学生と交流したり、AHSのフィールドトリップで海外の方と交流したりしたことで、語学力をあげることの大切さを身をもって感じました。だから、私は留学の制度が整っている大学に行きたいと考えるようになりました。このように、この塾を通して学んだことでやりたいと思えたことを行動に移したいです。

また、人の意見を注意深く聞くことの大切さを改めて感じることができました。AHSの話し合いのとき、みんなの意見の出すスピードの速さ、出された意見の内容の濃さに驚いたことを覚えています。論点がずれないように、かつ速く意見を出すには人の意見をちゃんと聞くことが大切だと思います。人の意見を聞かずに、自分の意見ばかりを主張しては話し合いが成り立ちません。人の意見を聞くことでわかることがあり、それが自分の意見の深まりにつながると思いました。さらに、人の意見は自分の価値観、ものの見方までをも変えると思います。そういう見方があったんだ。なるほど！と思うことが何度もありました。私は、塾を通して以前より多角的なものの見方ができるようになりました。今度は、私が学校で意見をたくさん出し、みんなのものの見方を変えられたらうれしいです。

◇卒塾生の感想文より

No.8

1年生男子

1 リーダー養成塾を受講して

私はリーダー養成塾に参加して、心の底からよかったと思っています。理由は2つあります。1つ目は、最高の仲間や人生の先輩に出会うことができたからです。2週間寝食を共にした仲間は、何についても意見を交わし合うことができ、一緒にいると互いに高め合うことができます。そして、自分の良さをもっともっとのばしてくれます。クラスの担任や学生リーダーの方は、将来の目標を達成するために重要なことを教えて下さったり、相談にのって下さったりしていただきました。私も彼らのような大人になりたいと強く感じました。あっという間に過ぎてしまった2週間でしたが、こんなにも別れたくないと思う人に出会えたのは初めてです。2つ目は、本気で議論する楽しさに気づけたからです。アジア・ハイスクール・サミットやディスカッションを通して、仲間とともに結論に向け、必死に考えました。このことは、論理的に考えることにもつながりました。この2つ以外にも、貴重な経験をたくさんすることができました。リーダー塾、最高です！

2 印象に残った講義とその理由

私が最も印象に残った講義は、中村ブレイス株式会社社長の中村俊郎先生の講義です。中村先生は、体の部分をなくされた方のために、義肢をつくっています。足を失ったフィリピンの子どものために、竹で義足を製作するプロジェクトについて聞いたときはとても感動しました。「歩けるだけでいいんだ」と泣いていた彼のために、仲間の社員に反対されながらも、フィリピンの伝統文化である竹細工を用いて義足をつくり上げた中村先生は、とてもかっこよかったです。「チャレンジ精神が大事。何事もやってみないと分からない」この中村さんのメッセージを胸に、これからも生活していきます。また、講義が終わった後の質問タイムでは、どんなときでも40人以上の人が挙手していました。改めて194人のレベルの高さを感じています。自分のことを発信する力も身につけられるよう、努力します。

3 今後のわたし

私は、リーダー養成塾を終えて、必ず身につけたいと感じた力が2つあります。1つ目は自己PR力です。私はこの塾に参加するまで、初対面の人に自分の良さをアピールするということをあまりすることがありませんでした。だから、私は、リーダー塾の委員会を決めるとき、学級委員に立候補しましたが自分の魅力を伝えきれず、落選してしまいました。私はまず、自分の良さは何かを改めて考え、胸をはって言える自分のセールスポイントをつくっていかうと思います。2つ目は、語彙力です。集まった高校生の中には、アメリカの学校から来ている人や、アジアの他の国から来ている人がいました。その仲間と比べたとき、自分の話せる言葉の少なさを痛感しました。英語での講義だった明石康先生の話も、半分程度しかわかりませんでした。だから、これから語彙力をつけるためにまず英語に力を入れて勉強し、その後、中国語や韓国語など使える言語を増やしていきます。また、留学にも挑戦したいです。

さらに、リーダー養成塾では「真のリーダーとは何か」について様々な人の意見をきくことができました。だから、まずはクラスの学級委員となり、その後学校の生徒会長になり、学んだ真のリーダーに近づけるよう努力したいと思います。そして、アジア・ハイスクール・サミットで学んだ議論の仕方や倫理的な考え方を取り入れていきます。これからも努力し続けます。

◇卒塾生の感想文より

No.9

2年生男子

1 リーダー養成塾を受講して

僕は、今回のリーダー養成塾で2週間の生活を通して、さまざまな刺激を受けました。生活面では、決められたスケジュールの中、時間を守り、たくさんの人とコミュニケーションをとり、友達を作り、毎日みんなの笑顔を見てとても羨ましく思いました。その中、勇気を出して輪の中に入り、たくさんの方の考え方や行動を見ているうちに自分にも笑顔が増え、積極的になれました。自分の悪い部分の性格はリーダー塾の仲間達の刺激を受け、大きく変わりました。委員会活動では、食事委員の委員長をさせてもらい、リーダーとしての責任や委員の仲間達への指示などとても貴重な体験をさせていただきました。これからの学校生活、社会での生活に活かしていきたいと思っています。

2 印象に残った講義とその理由

村岡浩司先生の講義が僕の中で一番印象に残りました。今まで自分は「料理人は和食の道を行くなら和食一筋でやり、洋食なら洋食一筋でなければいけない」と思っていました。ですが、村岡浩司先生のように手に一つだけの職を持つのではなく、さまざまな経験を糧にし、多くの方々と協力をして、九州パンケーキを作り、過疎化の進んだ町や村に活気を出させました。その中で、僕の価値観や考え方が大きく広がりました。

これからは、自分なりにさまざまな経験をしてたくさんの技術を身につけて自分の思う理想の飲食店を開いてみたいと思っています。

3 今後のわたし

今回のリーダー塾での2週間の生活で学んだことを活かして、自分のやっていきたい事を少しずつ、やっていきたいと思っています。そしてリーダー塾の生活の中で自分に何が足りていないのかを知る機会が沢山ありました。なのでこれからは、自分の長所は伸ばしていき、短所は無くしていきたいです。具体的には、長所では周りの人の様子を見て手助けをしたり、あまり怒りを表に出さない性格なので今まで凄く人に嫌われた事はありません。なのでそれを活かしていろいろな人とコミュニケーションとり、人と人を繋ぎ大きな輪を作っていきたいです。短所では一番に思ったことは、自分の英語力の低さです。グローバル化が進む中、英語の大切さを知り、少しずつでも英語の勉強をしていきたいと思っています。そして、もう一つの短所は自分の行動力があまり無いところです。これからは何か気がついたら直ぐに行動ができるようにしていきたいです。

これからの生活では、リーダー塾で学んだ沢山の体験を活かし行動をして、日々努力していきたいと思っています。

◇卒塾生の感想文より

No.10

1年生男子

1 リーダー養成塾を受講して

二週間かなり短い期間だと思っていましたが行ってみると初めの数日は体力的にも精神的にもかなり辛くて1日がものすごく長く感じましたが、リーダー塾の生活に慣れてくると後はあっという間に二週間が過ぎたように感じます。私はリーダー塾期間初めにとにかく話しかけるところから始めました。初日にあった時から別れるまで話した事がない人に話しかけ多くの人脉を作ることに徹し、その結果かけがいの無い友人を作る事が出来ました。たった二週間。しかし僕にとっては二ヶ月、いや二年ともにした友人のように感じます。

それぐらいリー塾で本気でぶつかって笑って悔しくて怒って、そんな感情を共有すると自然と入るのが当たり前みたいな感情が湧いてきました。しかし別れが近づくにつれ現実に戻されるのです。リーダー塾のような非日常を経験し、自分より優れた同世代をみることにより自分の中でのアイデンティティが崩れ、変化していくと思います。自分のやりたいことはなんなんだろう、自分ってなんだろう、そのようなことを思ったりします。これからかけがいの無い友人たちと共に自分の中の自分を見つけようと思っています。

2 印象に残った講義とその理由

リーダー塾で話された先生方全員が素晴らしい講義をされましたがその中でも私が一番印象に残った講義は沈壽官先生と川口淳一郎先生です。沈壽官先生は薩摩焼の十五代でいらっしゃる。日本で学ぶだけでなく海外のブラックなところなどを見てきておられ、話される言葉には力を感じました。先生は芸術家であるので話される内容も創造性に富んでおり、また一つの物事への探究心がとてつもないと感じました。

川口淳一郎先生ははやぶさを作られた方で、まず最初に思ったのは頭の回転が異常で語彙力やジョークセンスまで兼ね備えており一切隙を感じませんでした。また、はやぶさという新しいものを生み出す力はここから出てくるのかという物事の考え方をしておられ、僕ら高校生にはついていけないところもありました。お二方以外の先生方も、ものすごいお話をしていらっしゃる僕らもあんな風になりたいなという憧れというものが湧きました。これから現実にするべく頑張ります。

3 今後のわたし

リーダー塾ではたくさんの刺激をもらいました。学生では勉強がものすごくできるやついろいろな活動に参加しているやつ、留学に行ったやつから高校生でもできることがあることを学び学生リーダーからは、大学生でアクティブに活動している方から自分の大学生活を考えるきっかけとなり、担任の先生からは、働くという大変さ、楽しさ家族の大切さ、大人を学び、事務局の方からは必死さ一生懸命さを学び、講義をされた先生方からはリーダーとは何かを学び、生き方を学び、正直自分の中の自分を見失いかけています。僕は未来ビジョンをしっかりと確立させていました。大学に行って大企業に勤めて、それから独立して成功させてとっていましたが、リーダー塾で自分のやりたいことは自分の知識の中からはか生まれないという言葉聞き、自分の本当にやりたいことはなんなんだろうと考えるようになりました。たくさんの刺激をきくと無駄にしてしまう人もいられるかもしれません。しかし私はそうならないべく、その刺激を存分に受け自分の中に取り入れたいと考えています。そのために今できることは自分の情報を増やすということです。マスメディアから社会を学ぶことにより自分の知識をもっと広げることによってやりたいこと、また自分というものが確立すると思います。だから今は勉強することで今後の自分に繋がっていくと思います。リーダー塾の友人たちともインターネット上で繋がっていますし、離れていてもお互い頑張っていけばいつか一緒に仕事をする機会があるかもしれません。その時を夢にこれから様々なところで学んでいこうと思っています。

◇卒塾生の感想文より

No.11

2年生男子

1 リーダー養成塾を受講して

今回リーダー養成塾に参加させていただき、僕個人として知れて1番良かったことは、「将来へのビジョンの持ち方」です。具体的にすると、「職業より具体的に何をしたいかを大切に」ということに、「最終的な目的は何かを大切に」ということです。

今回いろいろな講師の方と会い、話す中、「やりたいこと、最終的なことは同じで、その手段が違う」ということに気づきました。自分の夢は全世界の子供が成功のチャンスを得られ、最低限度の生活を保障されている社会の実現です。僕はそのために以前は「国連」という道ばかり考えていました。しかし、それは違いました。経済や政治、科学技術、デザイン、食事、医療、宗教、産業いろいろなことが必要です。僕にとって必要なことは「自分がどれを大切に思い、どれが魅力的で、得意なのか」ということを選び、志そのままにその道で活躍することだと思います。そして、全人類が、それぞれ幸せを願っている、そこにはみんな共通するところをもっているということです。今、いろいろ世界で対立がありますが、それはその派生したところでもめているだけだと思います。

非常に大切なことを学べた2週間でした。

2 印象に残った講義とその理由

甲乙付けがたいですが、僕は川口先生の「思考法」に非常に感銘を受けました。「できないことに理由を見つけるのではなくやれる理由を考えろ、イノベーションは用意されているはずがない」と聞いた時、この人は天才だと思いました。他にも衝撃的な言葉ばかりでしたが、この非常に前向きな言葉は失敗を引きずり、解決策を思いつくというより問題点ばかり見つけてしまうという超マイナスで後ろ向き思考の僕につきささりました。考え方が180度近く変わった気がします。AHSで僕の思考を支え、解決策をなんとか導けたのは、はやぶさ的思考法のおかげでした。生涯大切にしたいです。

3 今後のわたし

僕が一生かけてとりくみたいことは前述の通り、全世界の子どもが成功のチャンスを得られ、最低限度の生活を保障されている社会の実現です。しかし、こんなに大きなこととなると自分一人では無理です。だから、同じ思いを持った仲間達と活動し、自分もその中の1つ、自分が好きで得意な分野から、他の分野とも共同しながら課題に立ち向かっていこうと思います。

その中で求められることのヒントを今回多く学びました。それは講義で知った考え方や、リーダーとしてのあり方、各分野の持つ力、また実際にAHSで集団で大きな課題に立ち向かい、ぶつかり、悩み、一つになりきったという経験、大集団で2週間も共同生活する中で得られた人とのかわりあいのしかたなどです。これらは僕が将来、夢に向かう時に暗い中でも正しい方向を指し示し、助けてくれると思います。かといって、自分はまだまだ無知な存在です。途上国を知るために大学に入ったら今回の友人を頼りつつ、途上国の日常にふれたいと思います。そうすることで、新たなインスピレーションがうまれるのではないかと考えています。また、リーダーとして、どう引っぱるべきかを知るための青年海外協力隊にも入りたいと思っています。現地の人とふれあい、さらに深く知ることで、一から状況をかえていくトレーニングを行いたいです。

この見通しを自信をもって言えるのは、今回仲間や先生方にいろいろ相談したからです。今やライバルとなった彼らに負けないよう、一生学び、一生やりたいことを持ちつづける人生を送りたいと思います。